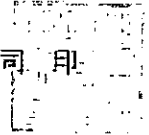


平成20年10月10日

国土交通省道路局長 様

遠軽町長 北川 健司 印



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件について、別紙のとおり提出いたしますので宜しくお取り計らい願います。

道路は、国民生活の向上と経済生活の保持を図る上で最も基本となる施設であり、特に、北海道においては、広域分散型社会を形成し、移動手段を自動車に依存している地域が多いことから、最も重要な社会基盤となっている。道路の役割は、産業、経済、教育文化、医療など、地域における社会経済活動のあらゆる面において大きいものであり、地域の活性化や自立に必要な地域の基幹道路の整備、高次医療への広域的なアクセスの強化、冬期間の交通障害の解消や交通安全の確保など、地方の道路整備に対するニーズは依然高く、道路整備は、地域の発展のためには不可欠なことから、引続き継続的な整備や維持管理が求められる。

また、道路整備にあたっては、地方が真に必要としている道路の整備が遅れることがないよう、必要な財源を安定的に確保し、現在のスピードを落とすことなく、着実な整備が図られることが必要である。

○現状

本町は、商業や医療などの都市機能が中心市街地に集積しており、移動に約1時間を要する地区もあり、道路に強く依存している。遠紋地域においても、平成元年の JR 名寄本線の廃止により、産業、経済、教育文化、医療などのあらゆる面において、道路が不可欠なものとなっている。特に、医療の面においては、遠紋第2次医療圏の地域センター病院である道立紋別病院の医師不足により、紋別市やその近郊から遠軽厚生病院に通う人も増えている。

○課題

本町は、医療や都市機能のほか、遠紋地域において唯一、道路交通以外の JR が通っていることから、今後、道央・道北圏とのアクセスの拠点になると考えており、また、物流や交流の拠点を形成するため、オホーツク紋別空港や重要港湾紋別港などにつながる広域交通ネットワークの構築も必要不可欠である。

しかし、一般国道238号の湧別・紋別間では、冬期間の地吹雪による交通事故や通行止めが多発しており、安全性や防雪対策などなどの課題もある。

このため、高規格幹線道路旭川・紋別自動車道の全線開通や、国道などの既存道路を一部活用した広域交通ネットワークの構築、交通の円滑化・安全性の確保などにより、当地域の広域ネットワークを形成することが必要と考える。

町内には、物流や観光の大動脈となっている国道242号と333号が幹線道路として通っており、これに、道道や町道が接続することにより、日常生活や経済活動に大きな役割を果たしているが、現在整備中の国道450号(旭川紋別自動車道)や地域高規格道路(遠軽北見道路)などの開通後は、圏域中心都市や道都札幌市とのアクセスの向上が図られ、医療、物流、観光などの面からも、町内の交通量の変化が予測されることから、これらを踏まえ、中心部へのアクセスの向上や市街地幹線道路の整備など、効率的で計画的な道路整備を行う。

本町では、現在、観光客のニーズが、見る観光から体験・滞在する観光へと変化してきていることを受け、白滝地域の黒曜石や丸瀬布地域の周氷河レリックなどの自然環境を活用した、「白滝黒曜石遺跡ジオパーク構想」による、新たな観光施策の展開により、観光客や交流人口の拡大を目指しているところである。これらの面から、新たな観光ルートの整備や地域間のアクセスの向上なども必要になってくることが予想されることから、観光客のニーズも踏まえながら、効果的な整備が必要になると考える。

今後の道路行政についての意見・提案

様式

北海道遠軽町

道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
都市交通の快適性、利便性の向上	高規格幹線道路旭川・紋別自動車道の整備 地域高規格道路(遠軽北見道路)の整備	計画全体の50%が整備されており、冬期間の交通障害の解消、物流、緊急医療、商圈拡大にも寄与しているとともに、交流人口の増大も大いに期待しているところである。 平成14年度に旭峠道路が供用開始され、平成15年に北陽防災工事が完成し、オホーツク圏の農水産品の輸送、観光、緊急医療などへの幅広い効果があらわれている。	
総合的な交通安全対策	国道242号(安国・豊原・清里・生田原地区)の道路路肩の拡幅整備	当該地区は、小中学校や知的障害者施設等が立地しており、いわゆる交通弱者が多く通行している一方で、北見・帯広方面へ向かう自動車交通量が多い区間であり、道路路肩部分の拡幅により、地区全体の交通安全の確保が図られる。	
少子高齢化に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	交通バリアフリー歩道の整備及び電線共同溝事業の整備	バリアフリー歩道の整備及び電線共同溝の整備により、高齢者、障害者に優しいまちづくり、都市災害の防止、景観の向上、安全で快適な歩行空間の確保など、様々な効果があらわれている。	

今後の道路行政についての意見・提案

道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式

北海道遠軽町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地球温暖化の防止	国道333号沿線の緑化推進	旭川紋別自動車道の一部区間において実施している植樹を、国道333号沿線についても実施し、緑化推進を図るとともに、国土保全、水源のかん養、地球温暖化の防止にもつながる。	